



## 茎数不足！浅水管理を徹底！6月中に有効茎数確保！

### 「雪若丸」の生育状況（6月17日現在 農業技術普及課調査圃場）

管内では、多くのほ場で茎数不足となっています。6月中に有効茎が確保できるよう、生育促進に向けた管理を徹底しましょう。

	指標値	高畠町		米沢市	
		調査値	指標比・差	調査値	指標比・差
草丈 (cm)	29.9	25.2	84	24.9	83
茎数 (本/㎡)	394	210	53	245	62
葉数 (枚)	7.6	7.2	-0.4	6.6	-1.0
葉色 (SPAD)	41.2	41.0	-0.2	40.5	-0.7

### 今後の技術対策

◎6月中(8～9葉期まで)に有効茎数「560～580本/㎡ 70株植えて1株26～27本」を確保することが、「雪若丸」の安定生産、適正籾数確保のポイントです。

#### (1) 茎数不足の場合

- 水深2～3cmの浅水管理、昼間止水・夜間かんがいで分けつを促進します。
- 土壌の異常還元（ワキ）がみられる場合は、速やかに田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ります。
- 上記の対策を行ってもなお、生育量が不足している場合（茎数300本/㎡以下、葉色40以下）は、減収となる可能性が高くなるため、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し生育量を確保します。

※補完施用した場合は、穂肥時の追肥量を減肥します。

#### (2) 順調に生育量を確保している場合

- 有効茎数（560本/㎡）を確保したほ場から速やかに中干しを行い、作溝も組み合わせて、無効分けつの発生を抑制します。
- 「雪若丸」は幼穂形成期まで葉色を40未満に低下させないように管理することが大切です。水管理や中干しで適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょう。

#### (3) 斑点米カメムシ類・いもち病対策

- 斑点米カメムシ類（アサギカメムシ、アヒゲカメムシ）の生息密度を下げるため畦畔・農道・雑草地等の草刈りを徹底しましょう。
- 本田で葉いもちが平年より早く確認されています。圃場をよく観察し、いもち病の早期発見・早期防除を徹底しましょう。

茎数と葉色の目安（指標値）

	6月20日	6月30日
㎡当たり茎数（本/㎡）	460	590
1株当たり茎数（本/株、70株/坪）	22	30
葉色（SPAD）	43	43

**農作業事故と熱中症に要注意！** こまめな休憩と水分補給。